

スポーツYAMATO

灼熱の全日本北信越予選

惜しくも全国切符逃す



あまりの暑さに吐きそうだったという大串。実際に吐くことはなく、気を吐くピッチングで何とか相手打線を抑えた。交流節も厳しい戦いが予想されるが、大串の右腕に勝利がかかる。絶対的エースが富山で躍動する。

投手陣よく投げた

2試合とも延長戦に突入

福井戦は次世代を担う木村がドキドキの初先発

全日本総合北信越予選が福井県で行われた。今年度は金沢学院大学と福井フェニックスと三つ巴の予選となった。第1試合は大和電機と金沢学院大学の試合となった。この日は日本全国で異常な暑さとなり、福井県も前日降った雨の影響もあり、何とも言えない蒸し暑い状態で試合が始まった。先発を任せられたエース大串は、「初回から吐きそうなくらい暑かった」という状態だったが、良いピッチングを披露。初回の4点を何とか守り抜き、最終回までリードする展開。最終回も2アウトまでいったものの、不運なポテンヒットで2点を失い、同点にされてしまった。延長タイブレークも何とか凌いだものの、最後は古川がホームランを打たれサヨナラ負けとなった。翌日の福井フェニックスとの試合には次世代のエース候補木村美咲が初先発を果たした。「とにかくドキドキして緊張した」という木村だったが、ピッチング自体は今の実力を発揮することが出来た。残念ながら4点を失ってしまったが、不運で失った点もあり、初先発としては十分な投球内容だった。大和電機に入ってから本格的に投手に転向した2年目でこれから20歳になる木村。体格を生かした直球は今後も伸びる可能性を秘めており、木村の可能性はまさに無限大だ。木村のシンデレラストーリーはこの日から始まったとあえて記しておきたい。試合はその後、斉藤一依一古川と継投。3人の投手とも暑さの中にも関わらず素晴らしいピッチングで福井フェニックス打線を抑えた。その後、連日の延長タイブレークに突入したもののこの日は延長戦を制した。大会結果は金沢学院大学が2連勝し、全国切符は惜しくも逃す結果となったが、7月1日から富山県で行われるリーグ交流節前に北陸の厳しい暑さを経験できたことは良かったと言えるだろう。今週末も暑さとの戦いは必至だ。集中力を切らさずに最後までどの様な展開になってもチャンスはあるので諦めずに全力でプレーしていけば必ずと結果はついてくるだろう。

交流戦展望

前半戦プラチナリーグ1位の大和電機は、サファリアリーグの2位、4位、6位チームと対戦する。7月1日(金)の初戦は今年からリーグに参入した2位の小泉病院と対戦する。リーグ戦では靜甲と0-1の接戦で負けたが、ほぼ互角の戦いだっただけに大和電機にとっては強敵だ。リーグ戦は投手力で勝ってきたのでエースを打ち崩すことが出来れば勝利も見えてくる。北信越予選でも打撃好調の南海に期待がかかる。ダブルヘッターで行われる2試合目は4位の花王コスメと戦う。きちんと戦えれば間違いは起きない相手だが、油断は禁物だ。7月2日(土)は6位の厚木SSCと戦う。練習試合でも対戦があり、お互いの手の内は知り尽くしており、戦いやすい相手。早い回に先制点を取り、中押し、ダメ押しで圧倒的な試合展開に持ち込みたい。全試合とも富山県ソフトボール協会で行われます。7月3日(日)にはジュニアオールスター戦とオールスター戦も行われるので併せてご覧いただきたい。